

教育目標

心豊かにたくましく生きる子の育成

めざす子ども像

- 成長を信じて丁寧に学ぶ子
- ふるさとや親の職業に誇りと愛着を感じる子
- 進んで体をきたえる子

児童の実態

- ・素直で優しい。
- ・仲良く活動し、好んで体を動かす。
- ・何事にもまじめに取り組む。

保護者・地域の願い

- ・安全・安心な学校生活
- ・より良い人間関係の構築
- ・児童理解と適切な支援
- ・知育、徳育、体育、食育面からの育成
- ・子どもに関わる情報の発信

重点目標

確かな学力

- 1 わかる・できる授業の展開
- 2 授業改善による学力の醸成
- 3 読解力の向上
- 4 家庭学習の工夫と継続

豊かな心

- 1 互いに認め合う学級づくり
- 2 明るい挨拶、場に応じた言葉遣い
- 3 保護者への敬愛
- 4 教育相談、支援教育の充実

健やかな体

- 1 体育授業の充実
- 2 基礎体力の向上
- 3 基本的生活習慣の確立
- 4 健康教育・食育の充実

信頼される学校

- 1 安全・安心な学校づくり
- 2 開かれた学校づくり
- 3 家庭・地域への情報発信
- 4 地域を知り郷土を大切に思う

具体的な取組

- 基礎・基本をスタートに、初めて見る問題にも自力で取り組める根気を付ける。
- ICTを活用し、ユニバーサルデザインの授業を行う。
- 書くこと、読むことの学習を通して、教科の用語を使いながら話したり聞いたりする力を付ける。
- 家庭学習を工夫し、継続させることによって基礎学力の定着を図る。

- 道徳の授業や学級活動・異学年交流などの特別活動を通して、互いの立場を尊重する態度を身につける。
- 児童会を中心に挨拶や適切な言葉遣いを定着させる活動を行う。
- 読書活動によって、誠実・勇気・寛容といった心に多くふれる。
- アンケートや相談活動、情報モラル教育を通して、いじめ・不登校・要支援児童を把握し未然防止等適切な対応をする。

- 運動の質と量を確保し、意欲的に最後まで粘り強く取り組ませる。
- パワーアップタイム等を活用し、基礎体力の向上をめざす。
- 家庭と連携し「早寝・早起き・朝ご飯」で、基本的な生活習慣及び食習慣の定着をめざす。
- 予防を重視した保健指導、給食時間等を活用した食育指導を行う。

- 見守り隊やPTAと連携し、児童の安全・安心を図る。
- 各学期、学校公開日を設ける。
- ホームページの更新や学年便り・保健便り・食育便り等で積極的に情報を発信する。
- 幼保小中の連携を図るとともに、地域の願いを知り、ふるさとを大切に思う心を育む。

検証の手法

- ◇ 毎日の授業がよくわかって楽しいと答える児童90%以上
- ◇ 自分の考えを友達に伝え、友達の考えと比べながら学習ができたと答える児童80%以上
- ◇ 家庭学習に真剣に取り組んだと答える児童90%以上

- ◇ 自分の学級は落ち着いて勉強ができると答える児童90%以上
- ◇ 心に残るような本を読んだと答える児童60%以上
- ◇ 子どもは、楽しく学校に通っていると答える保護者90%以上

- ◇ パワーアップタイムに頑張っていると答えた児童90%以上
- ◇ 子どもは、早寝早起きを心がけ、朝ご飯を食べて登校していると答える保護者90%以上

- ◇ 子どもは、交通ルールを守って安全な登下校を心がけていると答える保護者90%以上
- ◇ 住んでいるところの良さを知り、ふるすとは大切であると感じることができた児童80%以上

業務改善のための取り組み

- 1 職員室に大カレンダーを掲示し、1年間の行事を「見える化」する。職員全員が先の業務に対して共通の見通しをもつことで、多忙感を減らす。
- 2 週に1回の「ノー残業デー」を設け、全員が18:30を目途に退庁する。